



脳卒中急性期におけるせん妄の実態と関連因子に関する研究

2021年6月1日から2024年5月31日までに日本医科大学付属病院 SU/HCU 病棟へ脳梗塞、脳出血の診断で入院された患者さん

研究協力をお願い

当科では「脳卒中急性期におけるせん妄の実態と関連因子に関する研究」を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2021年6月1日より2024年5月31日までに日本医科大学付属病院脳卒中専門病棟/外科系集中治療病棟(以下 SU/HCU)病棟に脳梗塞、脳出血の診断で入院した患者さんのせん妄の実態を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：脳卒中急性期におけるせん妄の実態と関連因子に関する研究

研究期間：研究実施許可日～2026年3月31日

研究責任者：日本医科大学付属病院 SU/HCU 病棟 看護師 松本 京子

(2) 研究の意義、目的について

本研究の目的は脳卒中急性期患者におけるせん妄*1の要因と、せん妄予防対策の効果について明らかにすることです。研究の意義は、本研究により脳卒中急性期患者*2さんのせん妄要因を明確化し、予防対策の有効性を示すことができれば、患者さんのQOL*3の維持・向上、予後改善に繋がられる可能性があります。

補足：*1 せん妄とは、身体になんらかの負担がかかった時に生じる脳の機能の乱れです。

*2 脳卒中急性期患者とは、脳卒中を発症してから約2～3週間の患者を指します。

*3 QOLとは、Quality Of Lifeの略で生活の質や生命の質を意味します。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

2021年6月1日より2024年5月31日までに日本医科大学付属病院 SU/HCU 病棟に脳梗塞、脳出血の診断で入院した患者さんのデータを解析し、せん妄発症の要因についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、疾患（脳出血・脳梗塞）、意識レベル、麻痺の有無、失語の有無、ISDSC*1（3日目、5日目）認知症の有無、アルコール摂取の有無、せん妄歴、脳器質性疾患*2の既往、糖尿病の有無、入院前の眠剤内服の有無、入院時の採血データ、食事の有無、食事開始日、膀胱留置カテーテルの有無、カテーテル治療の有無、疼痛の有無、抑制の有無、膀胱留置カテーテル抜去日、カテーテル治療*3後の圧迫解除日、車椅子乗車日、点滴ライン*4の本数、SU/HCU 病棟退室日

補足：*1 ICDSCとは、Intensive Care Delirium Screening Checklistの略でせん妄の診断に用いられます。

*2 脳器質性疾患とは、脳の構造や形状に異常が生じて起こる病気や症状を指します。

*3 カテーテル治療とは、特殊な細い管状の器具であるカテーテルを血管内に挿入して行う治療法です。

*4 点滴ラインとは血管から点滴を行うための道を指します。

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 SU/HCU 病棟 看護師 松本 京子

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：3604

メールアドレス：kyoko-matsumoto@nms.ac.jp